



一般に日本のホスピス（緩和ケア）は、がんやエイズの末期にある人を対象としていますが、ホームホスピスは、がんに限らず、様々な病いや障害のために生きる困難に直面している人とその家族がケアの対象です。一軒の家（民家）に5~6人程度の方がともに暮らし、その住人を介護スタッフや地域の医療連携チームが支えるのがホームホスピスです。一人暮らしで家族のいない人も、ともに暮らし合う関係を築いていきます。そして、痛みやそのほかの身体的なケアだけでなく、生活者として人生の幕を閉じるまで、住まいを中心に医療、介護、生活支援が一体となったケアの体制を構築します。

全国ホームホスピス協会によるサポート

● 開設のサポート	● 運営のサポート
① ホームホスピスの学校	① 料金設定に関するアドバイス
② 法人設立のサポート	② 労務管理に関するアドバイス
③ 運営体制に関するアドバイス	③ 組織管理に関するアドバイス
④ 物件選びと改修のアドバイス	④ 認定に向けてのレビュー
⑤ 助成金の申請のサポート など	⑤ 各種研修(※)の実施
※ 研修の種類	
・ ホームホスピス全国大会（年1回）	・ 支部研修会（各支部年1回）
・ ホームホスピス実践者育成塾（年1回）	

ホームホスピス実践者育成塾について

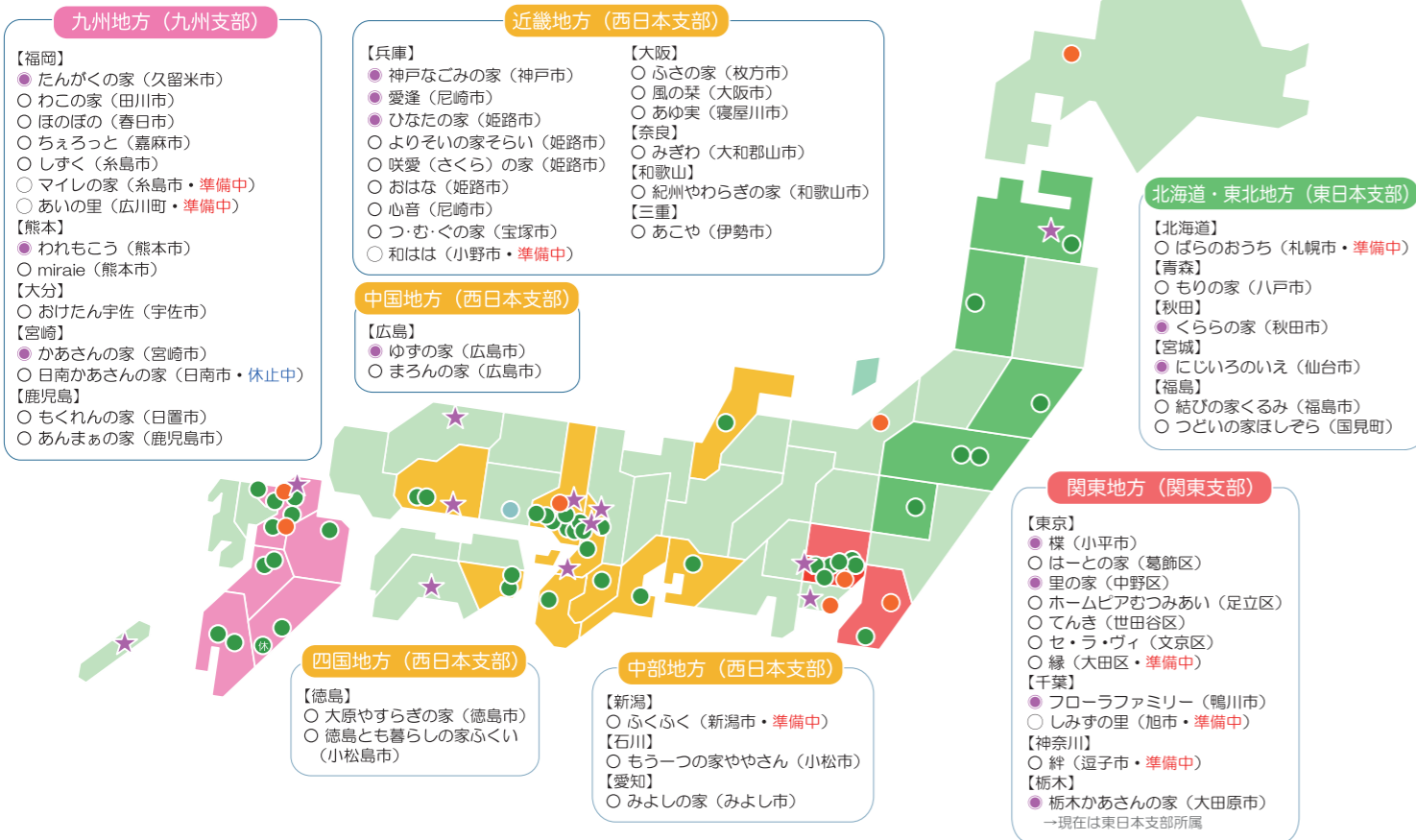
育成塾は、ホームホスピスの「理念の共有」と「ケアの向上」を目指して、実施している研修会です。対象者は、ホームホスピスの運営者、管理者、スタッフ、またホームホスピスに関心があり、近い将来に開設したいと考えている方（ホームホスピスの学校受講者を含む）です。内容は、現場でのケアに役立つ様々な技術を学んだり、実践事例や地域連携を題材にしたワークショップなどを行います。2024年の育成塾は、7月13日、14日の2日間、熊本県熊本市で開催の予定です。状況によっては、会場とオンラインによるハイブリッド形式になる場合もあります。参加費については、プログラムの内容によっても異なりますが、およそ1日当たり6,000円程度になります。

全国のホームホスピスマップ

2024年1月31日現在

表中の●は、認定ホームホスピス（実習先）です。

- 運営中のホームホスピス（協会正会員）
- 開設準備中（拠点決定）のホームホスピス
- 準備中の「ホームホスピス実践リーダー養成研修」修了者
- ★ 準備中の「ホームホスピスの学校（つくるコース）」修了者
- ホームホスピス®がない都道府県



ホームホスピス®を始めた人
ホームホスピス®を学びたい人

のための
ホームホスピスの学校

2024年6月(第7期)・10月(第8期)

お申し込みは、「全国ホームホスピス協会」ホームページから
<https://homeospice-jp.org>



A ホームホスピス「つくる」コース

● ホームホスピス®を開設したい人が受講する研修プログラム

理念やケアの実際および運営や管理についての座学（オンライン講座）と20日間の現場実習（ホームホスピスの現場で実際のケアに携わる）で構成されます。修了後は、協会のサポートを受けながら、ホームホスピスの開設を目指します。

B ホームホスピス「まなぶ」コース

● ホームホスピス®の理念やケア・看取りの哲学を学びたい人が受講する研修プログラム

理念やケアの実際についての座学（オンライン講座）です。希望者はホームホスピスの見学や体験をすることもできます。修了後は学びを活かし、各地・各分野で活躍していただきます。また、既存のホームホスピスに就職する方もいらっしゃいます。



ホームホスピス®は、全国ホームホスピス協会の登録商標(区分:第44類)です。

お問い合わせ先
全国ホームホスピス協会 事務局
〒880-0913 宮崎市恒久2丁目19-6
電話：0985-65-8087 FAX：0985-53-6054
Mail：info@homeospice-jp.org HP：https://homeospice-jp.org

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

研修「ホームホスピスの学校」の概要 (HHはホームホスピスの略)

1 ▶ 研修の対象者

A HHつくるコース

ホームホスピス®を開設したいと考えている方が対象です。このコースは、運営責任者（もしくは事務責任者）と現場のケアリーダーになる方を含むチーム（原則3名）で受講していただきますので、お申し込み前にメンバーを確定しておいてください。ケアリーダーは実際のケアに従事するため、看護師または介護士の資格を持っていることが条件となります。（ケアリーダーの年齢は、原則65歳以下とします。）

B HHまなぶコース

ホームホスピスの理念に共感し、その哲学や民家であることの意義、ケアの考え方などを、現在従事している仕事に活かしたいと考えている方（個人）が対象です。

2 ▶ 研修の形態

全各コース共通

座学は、ミーティングツール **Zoom** と教育管理ツール **Google Classroom** を利用したオンライン講座です。事前に **Google アカウント (Gmail)** を取得する必要があります。また、研修期間中に、オンラインミーティングなどにより、研修生同士の交流を図る機会も設けます。

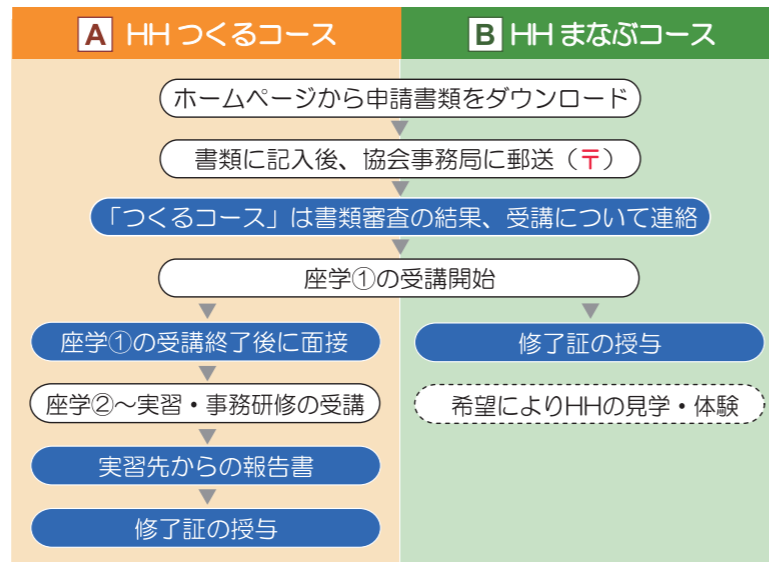
A HHつくるコース

つくるコースはチームでの受講となります。ケアリーダーは、「座学①」「つくる準備講座」「座学②」の受講及び「実習」が必須となります。運営責任者（もしくは事務責任者）は、「座学①」「つくる準備講座」「座学②」及び「事務研修」の受講が必須となります。また、座学②の前にチームで面接を受けていただきますが、面接によって座学②以降の受講についての意思などを確認します。実習は、実際に指定研修先のホームホスピスの現場に入ってスタッフの一員として行います。研修先は、全国に12ヶ所ある認定ホームホスピス（4ページのマップ参照）となりますが、ご希望により個別相談の上決定します。座学については科目ごとに、実習については毎日、レポート（日報）の提出が課せられます。また、受講生は、研修中または修了後1年以内に開催される会員向け研修会「ホームホスピス実践者育成塾」（受講料は別途）にも必須研修として参加していただけます。

B HHまなぶコース

まなぶコースの受講者は、「座学①」の受講が必須となります。希望者は、ホームホスピスの見学や体験実習をすることができます。なお、体験実習には実習料金が必要となります。

3 ▶ お申込み・審査



4 ▶ 研修プログラム

種別	分類	科目	期間・時間(※)
座学① (全員)	理念とケア	ホームホスピスの基本	120分
		ホームホスピスケアの哲学	120分
		ホームホスピスの環境1	90分
		ホームホスピスのケア1	90分
		ホームホスピスのケア2	90分
全員参加		全員参加ミーティング(※1)	120分
つくるコース		つくる準備講座	60分
		面接	30分
座学② (つくるコース)	運営	地域に開かれた運営	90分
		ホームホスピスの環境2	90分
		安全管理1(ケア)	90分
		安全管理2(防災)	90分
		仲間づくりと地域づくり	120分
		組織と持続可能な運営(労務)	90分
		組織と持続可能な運営(経営)	90分
		オンライン交流会(※2)	90分
事務研修 つくるコース (必須)		・スケジュール設定・法人設立・物件選定 ・助成金申請・労務管理・料金設定・契約などについて(協会事務局が担当)	2時間 ～半日程度
実習 つくるコース (必須)		連続した(法定休日を除く)20日間の研修ができない場合は、必ず連続した5日間の研修を2回含むスケジュールで実施します。それ以外の10日間については、状況及び事情に応じた組合せを可能とします。	20日間

- 科目の期間・時間については、内容により変更になる場合があります。
- ※1) 全員参加ミーティングは、両コースの受講生の皆さんが参加するZoomを利用したオンラインミーティングです。
- ※2) オンライン交流会は、「つくるコース」受講生の皆さんが、学びを共有し、お互いに交流を深めるための時間です。

研修料について

A HHつくるコース

座学① + 座学② + 実習① (20日間の場合) = 225,000円(※1)
*1) 1チーム(3名)の料金です。

B HHまなぶコース

座学① = 25,000円

※ HHつくるコースは、この他に、直近で開催される「ホームホスピス実践者育成塾」への参加(原則、運営者、ケアリーダー各1名)が必須となりますが、上記の料金にその参加費は含まれません(4ページを参照)。

【料金の内訳】

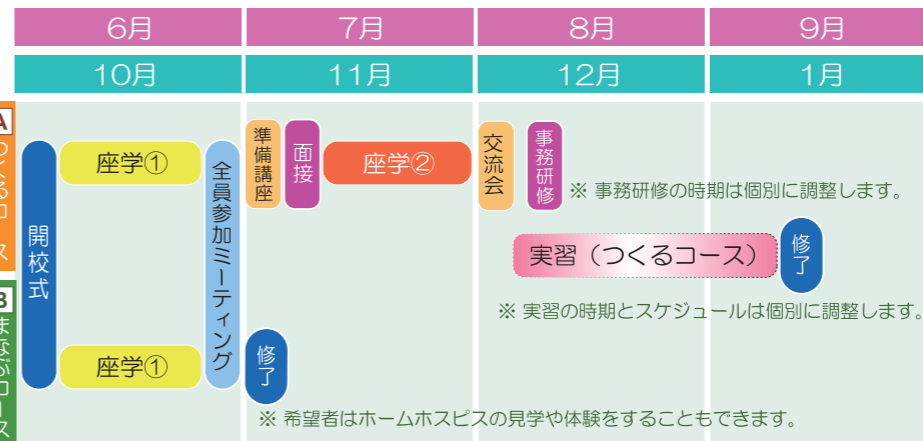
種別	料金(税込み)	備考
座学①	25,000円(※2)	「つくるコース」は(※2)を参照してください。
座学②	60,000円	事務研修費を含みます。
実習	6,000円/日	20日分を座学②の料金と同時に徴収します。

- ※ 受講開始時に座学①の料金を納入していただきます。
- ※2) HHつくるコースの受講者は、チームリーダーの方が25,000円、他のメンバーの方は10,000円/人の追加料金となります。(3名で参加の場合、座学①の料金はチームで45,000円)

研修スケジュール(予定)

基本的に年2回の開校を計画しています。

※ 表中の実習の期間は、目安です。それぞれ事情等を考慮して個別に設定します。



● 「つくるコース」の実習についての注意事項

現場実習では、運営の様子を見て学んでいただくとともに、実際のケアに携わっていただきますので、予期せぬ事故なども発生する可能性があります。相手先に損害を与えてしまった場合は、実習先の損害保険が適用できる場合がありますが、ご自身の不注意でケガをされるなどした場合は、適用されない場合がありますので、ご自身の傷害保険などの加入状況を予めご確認ください。

修了後の活動について

A HHつくるコース

全国ホームホスピス協会の賛助会員として、協会のサポートを受けながらホームホスピス開設に向けて準備を行います。

【特記事項】

- 修了後は、協会の賛助会員として登録
- 修了後3年以内を目安にホームホスピスを開設(※)
- ホームホスピス開設後は、団体正会員として登録
- 2024年度の育成塾と全国大会は会員料金で参加可能

(※) ホームホスピス®は、建物を含めた環境もホームホスピス®の基準を満たしている必要があります。そのような拠点整備のアドバイスも行います。

B HHまなぶコース

全国ホームホスピス協会の賛助会員として、介護や看護の現場でホームホスピスの理念(マインド)を持って活動すると同時に、在宅看取りの普及にもその学びを生かしていただきます。

また、コース修了後にホームホスピスで働きたい方も大歓迎です!

【特記事項】

- 修了後は、賛助会員として登録
- 2024年度の育成塾と全国大会は会員料金で参加可能



写真: 全員参加ミーティング(オンライン)

研修者の声

沖縄県宜野湾市
看護師 嘉数長雄さん

【第5期「つくるコース」修了生】

ホームホスピス協会のことを知ったのは9年前のことです。住み慣れた地域の中にあるもう一つの「家」を掲げ、全国に賛同されている仲間がいる。協会の取り組みに感銘を受けた私は自分達(沖縄県)も一員として頑張っていきたいという強い思いがあり、つくるコースに申し込みさせて頂きました。協会の理念からホームホスピスケア、開かれた運営といった軸となることを学ばせて頂きました。実習先(神戸なごみの家)では「共に暮らすことは伴走者としての存在である」と大切なことに気づかされた貴重な体験でした。平穏な日もそうじゃない日も家族のような日常を共に感じながら過ごしていける存在でありたいです。ホームホスピス協会の先駆者(先輩方々)の取り組みを学び、沖縄県から全国にホームホスピスを広めていけるように力を尽くしていきたいと思っております。

研修者の声

福島県郡山市
看護師・介護支援専門員
吉田かほりさん

【第5期「まなぶコース」修了生】

6年前にホームホスピスを知り、知れば知るほど惹かれ、もっと学んでみたいと思ったのが受講のきっかけです。座学では、ホームホスピスの基本理念を基に実際のケア等幅広く学びました。家という空間で少人数の人と、最期までその人らしく暮らす家。暮らす人々を住人さんと呼び「とも暮らし」と表現されていて、聞く度にほっこりと暖かさを感じました。実習では、日々の暮らしを支えるスタッフさん、住人さんの穏やかな表情を肌で感じ、家という空間も相まって「居心地の良さ」を感じました。まだまだ入り口の学びがかもしれませんが、今後この「ホームホスピスマインド」が広がる活動に微力でも関わりたいと考えています。